

千葉大学医学部附属病院で入院され リハビリテーションを受けた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年8月1日

脳神経外科/リハビリテーション科

リハビリテーション科では、特発性正常圧水頭症における運動障害とバランス障害の変化と特徴に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2020年3月～2025年7月の間に当院に特発性正常圧水頭症で入院され、髄液シャント術を施行され、リハビリテーションを受けた患者

1. 研究課題名

「特発性正常圧水頭症患者における運動障害およびバランス障害の特徴とその変化：後方視的観察研究」

2. 研究期間

2025年承認日～2027年12月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

特発性正常圧水頭症に対するリハビリテーションの内容が確立されたものは未だありません。特発性正常圧水頭症の症状の特徴は歩行障害、認知機能障害、排尿障害が言われておりますが、それ以外の運動障害やバランス障害の特徴はわかっておりません。

本研究は、特発性正常圧水頭症を患った方の手術前後での運動障害とバランス機能の特徴とその変化を調査することを目的としています。それにより、手術後のリハビリテーションの内容を検討し、特発性正常圧水頭症の方に対する効果的なリハビリテーションに活かすことに繋げていきたいと考えております。

方法は2020年3月～2025年7月の間に当院に特発性正常圧水頭症で入院され、髄液シャント術を施行され、リハビリテーションを受けた方の診療情報をカルテ

から抽出し、髄液シャント手術前後の運動機能とバランス機能の変化に統計学的な差があるかを検討します。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている年齢、性別、身長、体重、病歴、既往歴、生活歴等の基本情報、X線・CT・MRI画像、血液データ、手術記録などの医学的情報、リハビリテーション評価等の臨床情報（運動機能、歩行機能、認知機能、バランス機能、など）

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：リハビリテーション科 診療教授 村田 淳

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院リハビリテーション科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行います。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

リハビリテーション科 診療教授 村田 淳

043 (222) 7171 内線 6428

メール：yutawata19@chiba-u.jp（担当：渡辺）